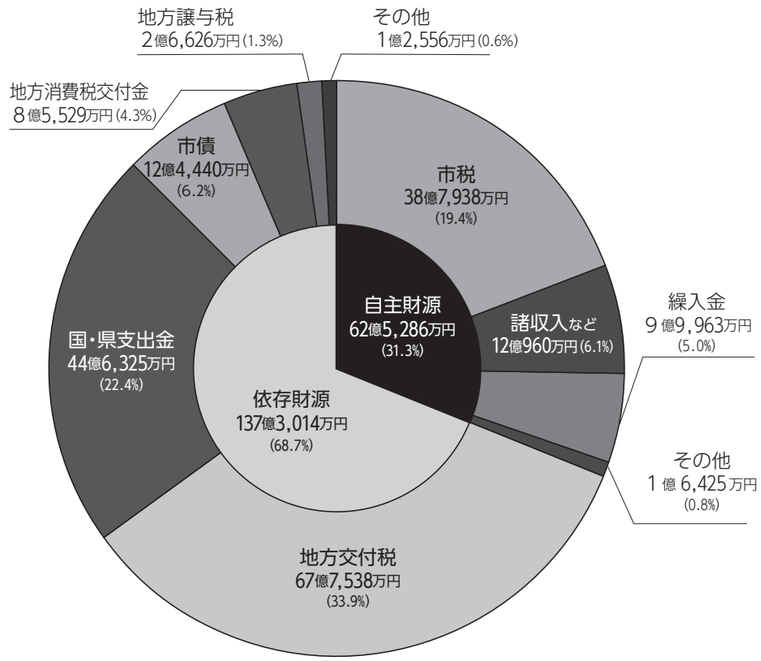
予算編成

子育て支援や観光振興 防災対策の３分野を充実

令和５年度の一般会計当初予算は１９９億８３００万円。令和４年度と比較して２億９、４００万円、１・４％の減額となりました。当初予算の概要をお知らせします。
※金額は１万円未満を四捨五入しています

一般会計歳入

199億8,300万円



令和５年度予算は、久慈市総合計画基本構想・後期基本計画に基づく各種事業の推進を図り、人口減少対策に取り組むとともに、限られた財源の効果的な活用を基本方針として予算を編成しました。また、重要施策として妊娠・出産・子育て支援施策、観光振興の推進、防災・減災対策の充実の３分野に重点をおきました。

一般会計の歳入を財源別に見ると、市税や諸収入、繰入金など地方公共団体が自主的に調達できる自主財源は62億５２８６万円。昨年度から４億５７１２万円増額し、自主財源が歳入に占める割合は31・３％と７・９ポイント増加していますが長期的には、少子高齢化の影響により減少していくことが予測されます。

歳出を性質ごとに見ると、人件費や扶助費、公債費などの義務的経費は９９億８８７８万円となり、昨年度から２億９２９８万円の減額となっています。義務的経費が歳出に占める割合は50％と２・８ポイント減少しています。

ただし、高水準で推移する社会保障費や施設の老朽化対策等により、引き続き厳しい財政運営が続くと想定されます。

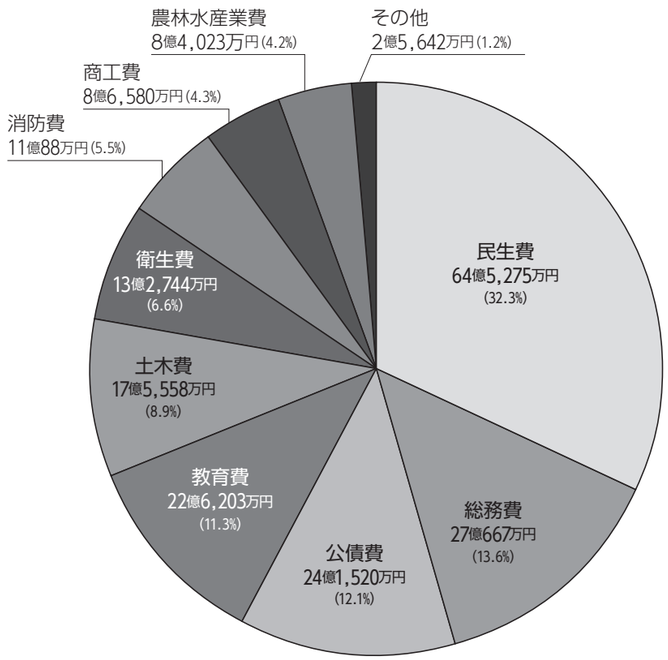
特別会計

特別会計は、特定の事業を一般会計と区分し、特定の歳入と歳出を区別して処理する会計です。

■国民健康保険事業勘定	39億8,290万円
■国民健康保険直営診療施設勘定	1億7,982万円
■後期高齢者医療	3億9,890万円
■魚市場事業	1,677万円
合計	45億7,839万円

一般会計歳出

199億8,300万円



歳出を性質別にみると…

人件費	35億2,445万円(17.6%)	義務的経費 50.0%
扶助費	40億4,885万円(20.3%)	
公債費	24億1,548万円(12.1%)	
普通建設事業費	20億3,921万円(10.2%)	投資的経費 10.2%
物件費	33億6,414万円(16.8%)	その他 39.8%
補助費等	27億4,430万円(13.7%)	
繰出金	12億6,228万円(6.3%)	
その他	5億8,429万円(3.0%)	

企業会計

水道事業会計

区分	収入	支出
収益的収支	9億3,703万円	10億7,841万円
資本的収支	2億　158万円	8億4,206万円

下水道事業会計

区分	収入	支出
収益的収支	9億4,082万円	11億9,405万円
資本的収支	4億8,083万円	8億5,373万円

財政用語の説明

【歳入の関係】

▶**地方交付税**…人口や環境などの違いで生まれる地方間の格差を調整するため、国から配分されるお金。国が徴収する所得税や法人税などが基になっています

▶**国庫支出金、県支出金**…建設事業や社会保障などの費用として、国・県から交付されるお金

▶**市債**…建設事業などを行うために、国や金融機関などから借りるお金

【歳出の関係】

▶**民生費**…福祉や子育てを支援するためのお金

▶**総務費**…市役所の庁舎や財産の維持管理、戸籍管理、税金の徴収などに使うお金

▶**公債費**…市の借金返済などに使うお金

▶**教育費**…学校教育や生涯学習の充実、文化・スポーツなどを推進するためのお金

▶**土木費**…道路や公園などの整備・補修に使うお金

▶**衛生費**…環境の保全や、健康を増進するためのお金

▶**消防費**…消防や災害対策のためのお金

▶**商工費**…商工業や観光を推進するためのお金

▶**農林水産業費**…農林水産業を振興するためのお金

▶**義務的経費**…人件費など支出することが義務付けられていて、簡単に削減できないお金

▶**投資的経費**…道路や学校などを整備するためのお金

▶**扶助費**…子育てや高齢者、障がい者などの支援に使うお金

▶**物件費**…民間への事業委託や各種ソフト事業などに使うお金

【その他】

▶**企業会計**…事業で得られる収入で経費を賄う独立採算制を原則とした会計。市では、水道事業会計と下水道事業会計がこれに当たります